夕刊
常磐毎日
発行所
平市田町75
常磐毎日新聞社
電話1210
編集兼印刷発行人　吉田甫

市道廃止の件保留
超満員の市議會傍聴席

平市九月定例市議会は三十日午前十一時半から開会、劈頭最も注目を集めている城坂踏切廃止問題である議案第七十四号
▽市道廃止の件と地元民から提出された一万名署名入り反対請願書採決の件について先議した結果
市道廃止の件についてはこれを跨線橋建設特別委員会に附託、更に検討を加えることとして保留、地元民の請願書は満場一致で採決された

ヤジが乱れ飛ぶ
廃止案一応保留と決定

同市会は城坂踏切存廃のカギでもあると言われていただけに地元才槌小路、城山、田町など市民代表およそ二百名が傍聴席に押しかけ伊藤助役から市道廃止提案理由の説明に入るや早くも議場内は緊張 当時廃止を条件とした際は地元民も賛成したと説明するや、「何言うか」「うそツケ」「馬鹿野郎」「市会は反省しろ」などヤジ、ば声が飛び緊迫した空気を呈したが

結局跨線橋建設当時の状勢から一応廃止を条件としたがその際市会は必ず存置実現を期すと決議して居る以上今こゝで廃止案を審議することは市議会の意にそわないとし、満場一致で保留を決議したものである

今後の運動は特別委員会で

なお今後の存置運動は跨線橋建設特別委員会を中心に検討推進することになつたわけだが、二十九日午後三時から三十日に亘る市会秘密協議会でも遂に名案に達せず

二十九日市会代表として水戸管理局に陳情たし木村淳、多田井、坂本各市議及び渡部土木課長佐藤地元代表らに対しても国鉄側は、平市が「誠意」を示さず「金」で解決するような態度なら協力出来ないと強硬態度を示していると言われるので今後の成行きは注目される

提出廿一議案

なお午後零時半一旦休憩した市会は午後一時再会、▽二十八年度追加更生予算など二十一議案を審議原案可決した

提出議案▽二十八年度追加更生予算▽二十八年度特別会計競輪事業費追加更生予算▽分譲住宅建築事業費予算▽特別会計設定の件（松ケ岡遊園地）▽二十八年度特別会計平児童遊園地事業予算▽平市手数料条例改正の件▽平市警察職員恩給条例設定の件▽専決処分承認の件▽財産取得の件▽財産処分の件▽防火水槽築造起債及び償還方法の件▽梅香保育園建築起債と償還方法▽消防自動車購入起債と償還方法変更の件▽街路新設事業起債と償還方法変更の件▽消防自動車購入費起債前借の件▽一時借入金の件▽収入役選任について同意を求める件▽平市公平委員会選任について同意を求める件▽平市固定資産評価委員会選任について同意を求める件▽市道廃止の件

産科婦人科
五十嵐雄二
入院随時
平市大町（大東相互横）
五十嵐産婦人科医院
電三六九

労働安全衛生大會開く
優良事業所の表彰など

労働安全衛生週間は十月一日から全国一せいに行われるが平地区労働安全衛生協会では週間に因み十月八日正午から平市労働会館に関係者約五百名が参加して大会を開く

大会では入選ポスターの賞金授与、衛生功労者、優良衛生事業所の表彰後、片倉工業平製糸所衛生管理者佐々木辰男氏「労働衛生の見知より見た集団給食について」磐城セメント四倉工場渡辺司氏が「セメント工場の粉塵測定と対策について」の研究発表を行う

表彰される衛生功労者は次の通り

大方敬雄（川合炭砿）安斎正（常磐城セメント）中野大三（常磐交通）飛田丈吉（呉羽化学）五十嵐四郎（呉羽化学）大谷捨吉（大昭炭砿）松本百代（品川白煉）八島正市（隅田川炭砿）西丸武、三浦磐八郎（古河好間炭砿）宗像富士也、高崎里美（常磐炭砿）原善治（片倉製糸）川崎義弘（品川黒田炭砿）森源次郎（日曹赤井炭砿）水野清治（菊多運輸）菅原アキ（戸部炭砿）田子志満　辻保（日本水素）

四倉町議会

四倉町で二十八日午後二時より町議会を開催　四倉水産加工業組合への融資申込について協議した結果、七百万円を融資する事に決定した

内郷町で
貧困階級実態調査を開始

県社会福祉協議会の事業として「貧困階層の発生過程とその生活構造」についての調査研究を行うため　二十九日午前九時ごろ調査委員である福島大学経済学部長中村常次郎教授、同部野村、中村両助教授、県社会課赤井主事、同社協永井事務局員らが内郷町役場を訪れ

町内の生活保護法による保護対象者の貧困になつた実態について調査を開始し、注目されている

陸稲は稀な豊作
大野村の開拓者ら大喜び

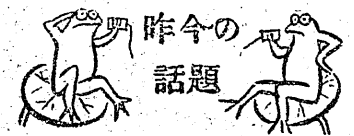
数十年振りの凶作だと　お百姓さんを嘆かせているが　これは雨のため例年にない豊作ですと喜んでいる人々が大野村にある……

大野村大字駆込字排橋開拓者遠藤英治さん(四二)ら十名石城地方事務所農地課から斡旋された陸稲農林二十号（もち米）を約五町歩ほど播いたところ今年は例年にない降雨に恵まれ見事な生育を見せ早くも収穫を始めたがこの分なら例年平均反当収穫一石二斗を三割以上も上廻る二石平均と言う豊作で開拓者はほくほく

これは田稲が相当な水を必要とするが陸稲はあまり水がなくても反当一石くらいはとれていたものだが　今年は雨が降り続き畑にも例年田稲ほどに十分、水分を吸収したため豊作になつたもの

なお石城地方事務所では日照り雨にも強い農林二十号（陸稲）のほしいものはいつでもわけてあげますと語つていた

平三丁目
TEL 446



昨今の話題

新聞週間に当つて

吉田甫　(1)

十月一日から新聞週間である、新聞に携るわれわれとしては、何時もこの週間に過去一年をふり返つて、反省もし努力もして更に一層の覚悟で仕事と取組む心構えを更新する

毎朝晩少しでも新聞の配達がおくれると読者はきつと「何故もつと早く配達しないのか」と苦情をいう、それ程世間では新聞を楽しみにし、待ち遠しがる、そのくせ直ぐ容赦なく新聞の悪口をいう、一体どちらが正しいのかと言うと　どちらも真実なのである、新聞を頼りにし待ち遠しがる心理は、新聞の社会的機能の活動に対する、カツ望であつて、悪口はそれの反社会的の一面を指すのである、勿論中には方角違いの賞賛や、批難もあるが、とにかく現在の新聞紙には、多少に拘らずこの両面の存在していることは事実である、私は、この機会に、公共機関としての新聞が、社会に与える貢献と、その弊害との実際を述べ、その効果をより大にすると共に、その弊害を如何にして防止するかを　読者と共に研究したい気持あでる

元来新聞記者の書く新聞論は、やゝもすれば独りのみ込みに流れ易いと言われている、一方的の議論では特に新聞のこの方面の研究は完成されない、新聞を真によくするためにはどうしても　新聞と社会との協力が絶対的に必要である、そこで「新聞とは何ぞや」などの論議はあとにして実際上の問題を社会の前に提供するに止どめ読者の厳正な批判を乞うものである

▼新聞の社会的存在価値

新聞のわれわれ社会に於ける存在の意義は、これを学問的に説明するよりも、まず実際問題として新聞がこの社会から消滅した場合のときを考えて見ればそれが何よりも一番直さいに総てを説明出来る、新聞が吾々の日常生活から全然消失した例は日本においては――地方的ではあつたが――大正八年印刷工のストライキによつて八月一日から四日間東京の各新聞紙が、全部休刊したのと、　大正十二年九月一日の例の関東大震災によつて大部分の新聞社が焼失したために、一、二の紙を除いて　殆んど半月に亘つて新聞の発行を不可能ならしめた経験がある　その当時社会に与えた影響はどうであつたかと言うと言うまでもなく全く社会を暗黒化してしまつた

（続）

内郷一中校の
運動会延期

内郷一中校の秋季大運動会は三十日挙行される予定だつたが雨のため、二日午前八時から同校グラウンドで挙行する

内郷地区署
ポスター入賞者

内郷地区署では交通安全旬間に因んで、管内小、中校生徒児童から交通安全ポスターを募集中だつたが、中学校の部三十点、小学校の部四十八点が集つたので　二十八日午前十時から審査した結果　特選五名を県下展示会に出品することになつた

入選者次の通り

▽特選（中学校の部）内郷一中三年矢畑順子、同校二年小野川靖夫（小学校の部）御厩小六年根本年子　綴小六年志賀道夫、御厩一年阿部光義

▽入選者（中学校の部）内郷一中小松清子　内郷二中泉博、坂本清　橋本満雄　菅波三雄　兄〃勇　中村孝一、（小学校の部）御厩小遠藤貢司、林ナカ子、鈴木タヶ子、綴小前田滑美なお表彰式は十月中旬ごろ行われる交通安全運動期間中に挙行される予定

出生死亡

三十日届出

出生＝平市中町三長谷川昇三男進、平市仲間町一五冨田直彦長女直美

御挨拶

初秋の候益々御清栄の段慶賀の至りに存じ上げます。

陳れば、長期に亘る弊矢郷炭礦の粗鉱権に関する問題は、世上を御騒がせ、従業員の生活問題に迄発展し、官庁は勿論業界その他関係各位に多大の御心配を御懸け致しましたことは、誠に遺憾に堪えない次第でありまして茲に謹んで御詫び申上げます。

然るに今春以来、東京通商産業局、官選管理者並に地元各位の並々ならぬ御同情御声援により、今回鉱業権者川合昇代と完全なる了解を得ることが出来、円満解決致し、近く再開の運びに至りました

右御報告申上げますと共に、長期に亘り大方より寄せられた絶大な御理解御後援を深謝し、操業開始後わ倍旧の御引立を併せて御願申上げる次第で御座います。

右不取敢紙上を以て、御挨拶申上げます。敬具

昭和二十八年九月三十日

石城郡内郷町大字白水
主城第三炭礦（矢郷炭砿）
矢郷倉造
職員一同
労働組合一同

郷土の誇り
世界的名曲六段の作曲家……
八橋検校は磐城平の生れ……
名曲六段に因み
平名物六段最中
平駅前
平凡
電五〇九番

最高を誇る
品質と色調
各種豊富に入荷しました
1ポンド ¥2,000円
ダイヤモンド毛糸
ハシモトヤ糸店
平市銀座通り　電14

9月中旬　第二回東北清酒品評會縣代表　於盛岡市

福島県優等銘酒
福美
四家酒造場
四家又一
石城郡内郷町電一五〇四番

福島県優等銘酒
近盛
馬目酒造場
馬目太平治
石城郡内郷町電平一五〇三番

福島県優等銘酒
鶴仙
松吉屋酒造場
松本金市郎
石城郡平市平窪杉内電二一〇番

福島県優等銘酒
稲万歳
古川酒造場
古川伝一
石城郡植田町電一六番

10月のメモ

天高く馬肥ゆるの候きのこや紅葉を追つて野に山にハイキングのシーズンである又スポーツのシーズンでもあるので色々各地に催物もある、例年なら実りの秋と喜こばれるのだが、今年は四十有年の凶作とあつて何んとなく寒々しい感じである、今月の主なるメモを拾つてみると

今年は実らぬ秋

馬肥ゆるハイク、シーズン

▼一日から赤い羽根募金開始
▼一日から新聞週間
▼一日から労働衛生週間
▼二日、町村勧業主任会議（地方事務所）
▼三日から平競輪前節
▼三日、漁協組経理研究会（小名浜）
▼三日、内郷青年弁論大会（内高校）
▼三日、磐農高校落成式
▼四日、珠算検定試験（平商校
▼四日、町村吏員体育祭（植田小校）
▼四日、梶原完氏ピアノ独奏会（磐女校）
▼四日、小型運転車試験（平一小校）
▼五日、平成人学校開始（十一月七日まで）
▼五日、美空ひばり演芸大会（平公会堂）
▼六日、冷害農業経営者講習会
▼九日、平専門店会チケツト祭演芸会（平公会堂）
▼十日、から平競輪後節
▼十日、仔牛セリ市
▼十一日、湯本芸柳会舞踊発表会（公民館）
▼十一日、理美容師試験第一日目
▼十二日、平事件公判
▼十三日、平事件公判
▼十六日、理美容師試験第二日目
▼十七日、理美容師試験第三日目
▼十八日、消防協会平支部幹部大会（内郷高校）
▼十九日、平事件公判
▼二十日、十三夜、後の月見
▼二十、恵比寿講
▼二十一日、平事件公判
▼二十一日、秋土用入り
▼三十日、二十三夜祭

また少年窃盗團

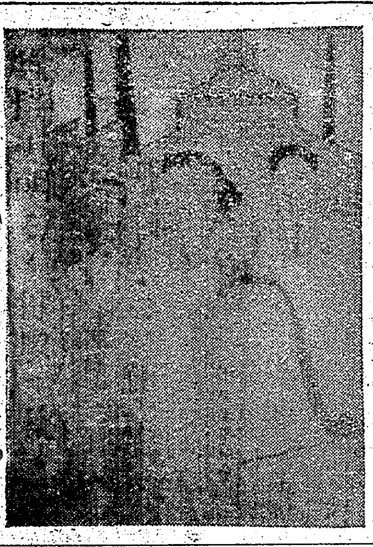
内郷炭礦街の少年犯罪

後を断たない内郷炭砿街の少年犯罪が憂慮されている所からまたまた、内郷地区署管内に三人組、五人組などのグループ悪質集団窃盗が発生した

（その一）内郷町宮字家根内郷二中三年生A少年（一五）、同B少年（一五）、同C少年（一五）、同D少年（一五）同二年生E少年（一四）の五名は昨年五月ごろから今年九月二十日までの間に、二人組、五人組となつて内郷町宮字金坂佐藤呉服店から反物二反時価九百円、同町綴字榎上中沢商店の売上金千円を窃取したほか平、内郷、湯本の一市二町をまたにかけ三十三回にわたつて現金、万年筆、草履、古鉄など五十二点時価三万二千円相当を窃取し、同町の某質店に入質して映画、パチンコ代にあてていたもの、この少年窃盗団の首謀者とみられるC少年は、今年八月ごろ戸部炭砿電気倉庫に忍び込み、高圧線にふれ感電し重傷を負つた強かもの

（その二）同町高坂字桜井内郷一中三年生某少年（一五）は昨年八月ごろから今年八月までの間に十四回にわたつて平市大丸百貨店から靴下三足時価三百九十円、藤越デパートから学生帽一ケ時価二百五十円を窃取したほか平、内郷、湯本、小名浜の洋品店からタビ、靴下、バンドなど二十一点時価四千五百円相当を窃取し、仲間にくれていたもの

（その三）同町高坂字桜井内郷一中三年生某少年（一五）は昨年六月ごろから今年八月までの間に平市三丁目永山洋服販売店から学生服上下一着千二百円相当を窃取したほか三十一回にわたつて平、内郷の商店からバンド、ランニング、マフラー、万年筆など四十八点時価一万三千円を窃取し入質しては遊興費にあてていたもので いづれも内郷地区署に二十八日保護され、三十日平児童相談所に書類通告された



衛生ポスター

入賞者発表

平地区産業安全衛生協会では十月一日からの衛生週間に因み衛生ポスターを募集していたが「労働衛生は先づ清潔な職場から」の標題ポスター外二点を二等に、三点を三等にえらんだ、一等は該当なかつた

入賞者次の通り

二等二点とも常磐炭砿磐城礦昭

三等湯本町三函常磐炭砿磐城礦昭、ほか二点好間村上好間新屋敷古河好間炭砿松永義之輔

（写真は入選ポスター）

二名を就労停止

平職安では十月一日から好間村北好間字三反田自由労務者菅田義太郎（三二）と磐崎村大字藤原同斎藤五郎（三三）の両名を悪質労務者として就労停止処分に附することになつた

菅田義太郎（三二）は去る二十八日午後二時ごろ好間地区川中子失対事業現場で失対事業所監督補助員佐藤卓也さん（三五）に対し自由労務者を代表して時間短しくを要求して来たが「規定の午後三時までは時間の短しくは出来ない」とことわられるや菅田は腹を立てそばにあつた約一貫匁の石をなげつけ当らなかつたので三尺棒を持つておどかし佐藤さんが現場監督事務所に逃込んだのでナタ鎌を持つて「殺すぞ」と追かけて来たもの十月一日から来年三月末まで就労停止処分

また磐崎村の斎藤五郎（三三）は去る二十六日午後二時ごろ石川、湯本県道路改修現場で現場監督小池勇さん（三九）に働かせてくれとつめより「今日はおそいから働かせるわけにいかない」とことわつたところやにわに小池さんの左足をけつとばし軽傷を負せたもので十月一日から十二月末日まで就労停止処分

炭礦別野球

戸別炭礦優勝

常日鉱第五回炭鉱別野球大会は二十七、八の両日植田小、中学校の校庭で開き、決勝は大昭炭鉱と戸部炭鉱で争つた末、十六A対五で戸部炭鉱が三年連続優勝した

常磐が優勝

専問店招待野球

平専問店会の職場対抗招待野球大会決勝戦は、去る廿八日平工球場で勝ち残つた常磐炭鉱会計課対四倉セメントチームが熱戦の結果常磐会計が優勝し、栄えある優勝旗優勝たてを獲得した

優勝チームには、平商工会議所賞、平専問店会賞を、準優勝のセメントチームには、常磐毎日新聞社賞、平専問店会賞を授与した

秋の子牛セリ市

石城家畜農業協同組合主催の秋季子牛せり並に品評会は十月十日午前八時から平市上川原平神橋際平家畜市場で約百頭が参加して開かれる

始めは品評会でせりは午前十一時ごろから始まるものと見られる、なおこのせりで平、大浦、沢渡の三市村から有畜農家創設による政府資金（七割）で各々十頭づつ購入することになつている

歌姫美空ひばり

五日平市公会堂で開演

歌謡界のナンバーワンである、美空ひばり嬢ら一行は五日平市公会堂で、歌謡大会を催すことになり、地元のファンから来平を待たれているが、三十日本社宛に挨拶状を寄せて来た

（写真は美空ひばり）

御挨拶

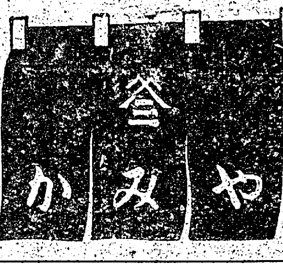
「この度あこがれの平の皆様方に風戸の叔父さんに連れられておあい出来ます事を非常にうれしく思います、去年リンゴ園の少女の撮影の時、青森の帰りに御目通り出来る事を楽しみに致しておりました所、京都の撮影「ひばり捕物ちよう」のために一それも出来ず寂しく思いおりました

今度、東北方面四日間の旅に一日平で開演させていただく事に相成りました、つたない芸では御座いますが一生懸命にうたわせていただきますれば、皆様方の御声援をお待ち申上げます

開演に先立ちまして紙上を以て失礼とは思いましたが、懐しさの余り御挨拶申上げます」

産米供出打合

本年産米供出事務打合会は十月一日午前九時から平市農業会館で開かれる



落盤犠牲者

社葬を以て弔う

（既報）落盤事故のため即死した好間村北好間小田炭砿南新坑採炭夫吉村不二夫さん（四三）は今年最初の犠牲者でもあるので会社（所長遠藤辞氏）では三十日午後四時から会社前で社葬をもつて爽やかに葬儀を執行した

安全衛生功労者

管内で二名上申

平地区安全衛生協会では十月一日から一週間全国一斉に催される産業衛生週間に因み県で表彰する優良衛生功労者を管内から選衡していたが三十日東北電力平電業所の佐久間光雄氏鳳城炭鉱衛生管理者道山総治氏を選衡、県に上申した

草野の青年家出

草野村大字神谷字宿農桜村勇さん（五〇）は三十日朝平地区署をおとずれ三男勇三君（三〇）が家出、自殺のおそれあるから捜してほしいと願出た

勇三君は去る二十八日午後七時ころ現金千円を持つて父あてに「帰らぬ旅に出る、先立つ不孝をお許し下さい」と書おきを残しており所持金の少ない点などから市内附近の山中で自殺したのではないかと見られる

勇三君は本年春ごろから神経すい弱気味でえん世的になっていた

尼子タクシー
市内 小型100円
TEL 640

銘木の御用は
ベヤニ板各種 床柱 天井板
多少に拘ず格安販売
織田銘木商店
平市紺屋町電四六〇番

江戸前 寿し
募 急
寿し見習員
女中さん（数名）
江戸川本店
本旭小路
電一〇二一番

大東殖産株式会社
確実な利殖
簡易な融資
平営業所
平市新川町
電三十八番

三井信託金庫
◎秘密で…
◎安全な…
◎高配……
平支店
平市新川町
電三十八番

料亭 一の井
平市田町
電一〇九

秋のスポーツ用品
何んでも……特売
▲野球、庭球、競技、卓球
各種ボール……外
▲新型両面チャンバー
▲各種運動服装類
▲月星…各種運動靴
定評有る大塚の高級靴を!!
株式会社 大塚へ
平駅前大通り
電七十七

皆様の御食事のデパート
生寿司
和洋料理
不二屋
電八八六

看護婦募集
整形外科
内科
外科
レントゲン科
理学診療科
竹林病院
平市十五丁目北八一二・六〇八
院長 竹林貞吉
医長 中川増郎
医員 永山徳二
薬剤師 永洋子

編返しのできる
純毛中細 手編毛糸使用
スウェーター
生産者直売店
東平